

北海道余市町とイタリア・ランゲ地方生産者連合が 「LANGHE - YOICHI Alliance(ランゲ・余市同盟)」締結

—ワインの「拇印」で誓う、世界最高峰の産地との歴史的提携—

北海道余市町(町長:齊藤啓輔)は、2026年3月26日(日本時間同日)、イタリア・ピエモンテ州のランゲ地方生産者連合との間で、高品質なワイン造りに向けた技術協力および文化交流を目的とする友好協力の了解覚書(MOU)を締結しました。締結式は、同州ネヴィーリエにて行われ、余市町長およびランゲ地方の生産者代表らが出席しました。

今回の提携を象徴する儀式として、両者は「ワインを用いた拇印」を署名に添えました。朱肉の代わりに、その土地のテロワールが育んだワインを指に浸し、書面に刻印。形式的な合意を超え、互いの情熱と醸造文化を深く融合させるという強い意思を共有しました。ランゲ地方は、バローロやバルバレスコといった世界屈指の銘醸ワインの産地として知られ、そのブドウ畑の景観はユネスコ世界遺産にも登録されています。このような世界最高峰の地域が、日本の自治体と同様の枠組みによる協力関係を構築することは、極めて異例の出来事です。

本覚書に基づき、両者は「LANGHE - YOICHI Alliance(ランゲ・余市同盟)」のもと、以下の分野において連携を進めてまいります。

【主な連携内容】

1. 技術交流: ブドウ栽培および醸造技術の共有、生産者同士の相互訪問。
2. 文化・教育: 次世代を担う若手生産者の研修受け入れ、ワイン文化の振興。
3. ブランド向上: 国際市場における両産地の認知度向上に向けた共同プロモーション。



齊藤町長(写真右から3番目)と提携を喜ぶ現地の生産者ら



署名とともに、ワインを朱肉代わりにする「拇印」という情熱的な儀式が行われ、新たなワイン同盟が誕生した。

余市町長 齊藤啓輔 コメント

「ランゲ地方は、世界が羨望する偉大なワインの聖地です。今回、余市町が目指す『世界に認められる産地』への歩みにおいて、彼らとワインの拇印を交わし、魂を共有する絆を結べたことは歴史的な一歩です。互いのテロワールに敬意を払い、技術と感性を磨き合うことで、余市のワインをさらなる高みへと押し上げてまいります。」

プレスリリースについてのお問合せ

余市町役場 政策推進課 担当:白鳥

Tel:0135-21-2117

Mail:s.cyousei@town.yoichi.hokkaido.jp